

令和6年度 第3回佐賀市地域公共交通協議会 議事要旨

開催日	令和6年11月27日(水) 10:00～11:45	
出席者	委員	鈴木会長、牟田委員、草野委員、大鶴委員、 松崎委員(代理:大崎様)、大串委員 下川委員(代理:山崎様)、山本委員(代理:山口様) 牛島委員、岩松委員、松本委員(代理:納富様) 江口委員、北島委員(代理:北原様) 石上委員(代理:三浦様)、坂井委員(代理:及川様) 小城原委員、犬尾委員、古賀委員、有森委員
	事務局	稲又都市戦略部長、溝口交通政策課長、内川交通政策係 長、北村交通政策課主査、野田交通政策課主事、山口交 通政策課主事
欠席者	五十嵐副会長、野口委員、中尾委員	
報告	・電子タクシーチケット発行事業について ・その他	
議事	・佐賀市地域公共交通利便増進実施計画の作成状況について【非公開】	
傍聴者 (一部非公開)	なし	
報道機関	なし	

【報告：電子タクシーチケット発行事業について】

事務局から取組を紹介(割愛)

【報告：その他】

委員から以下の取組を紹介

- ・佐賀県バス・タクシー・トラック自動車整備 合同企業説明会
- ・バス運転体験会社説明会
- ・運転士募集パンフレットの紹介

○委員

佐賀県バス・タクシー・トラック・自動車整備合同企業説明会は、県内でバス、タクシー、トラックの運転士が不足していることから、各業界団体とバス・タクシー・トラック事業者が共同で開催する。来年1月22日に、今年度2回目の説明会を予定している。

今回は、自動車事故対策機構という運転士適性診断を行っている組織の端末を借りて、適性診断の体験をできるコーナーを設けた。また、運転士と同様に人手が不足している整備業界から、自動車整備の仕事を紹介する取組を予定している。

また、今回初めて、退職予定の自衛官に参加してもらおう予定としている。自衛官は、一般の企業よりも若い年齢で退職し、大型免許などの資格を保持することから、自動車業界では即戦力としての期待が高い。目達原駐屯地から協力を頂き、1人でも多く自動車業界に入ってもらおうことを目指している。

周りでお仕事を探している方がいれば、ぜひお声がけ頂きたい。

○委員

佐賀県内のバス運転士の3分の1が60歳以上で、10年後には全体の半数の運転士が60歳を超える。毎年運転士が減り減便や路線の廃止が続き、10年後には、今の路線が半減又は便数が半数に減るかもしれない。

そのため佐賀県バスタクシー協会では、運送事業者と協力して、平成29年からバス運転体験会社説明会を実施しており、運転士の確保につながればと考えている。先日、富士自動車学校で第11回目を開催し、現役の運転士からの仕事の説明や、各事業者からの企業説明、バス運転体験などを実施した。来年2月2日には、伊万里自動車学校の協力を得て同様に第12回目を企画している。

次にパンフレットについて説明する。県外からも運転士を確保すべく、佐賀県の協力を得て、11月17日に大阪市で開催された移住相談イベントにおいてブースを出展した。移住希望者に対して、佐賀県内でバス・タクシー運転士として働くことの魅力ややりがい等をPRする際に、パンフレットを配って説明している。

バスやタクシーの仕事に就いて県外から移住された方、女性運転士や定年後の第2のステージで運転士を選ばれた方などのインタビューをパンフレットに掲載しており、これらのインタビューを通して興味を持っていただき、運転士になるきっかけになればと考えている。12月14日には東京で開催される移住相談イベントにて、このパンフレットを活用してPRを行う予定。

各事業者様に、運転士不足で減便や路線の廃止を行わざるを得ない状況にある。貸切りバスも同様に運転士不足で、今後、学校の修学旅行もどうなるのかという危惧をしている。タクシー運転士の平均年齢も66歳と、バスと同様な状況。今後とも運転士確保への御協力をよろしくお願ひしたい。

○委員

先に話があったとおり、バス、タクシー、トラック、全て人材不足が深刻化している。構造的な問題により、全国どこでも減便や路線の廃止が頻繁に起こっている。

交通局をはじめ事業者はいろんな場所で採用活動をしているが、これといった決定打はない。いろんなPR活動をしながら採用活動を行って、1人でも2人でも来ていただけることを目指している。運転士に興味がある方がいらっしゃったら、このような企業説明会をぜひ紹介していただきたい。

報告終了

【議事1：佐賀市地域公共交通利便増進実施計画の作成状況について】【非公開】

事務局から説明

委員から意見

議事1について同意

閉会